

FY2016

2017年5月23日

株式会社 第一興商 2017年3月期決算説明資料

DAIICHIKOSHO CO., LTD. Ended March 31, 2017 (FY2016)

売上高 140,640 百万円

カラオケ・飲食店舗事業とその他事業が増収となったものの、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業が減収となり前年同期比0.5%減少

営業利益 20,694 百万円

音楽ソフト事業とその他事業は減益となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増益となり前年同期比4.1%増加 [過去最高を更新]

経常利益 22,539 百万円

保有資産のポートフォリオを見直したことにより営業外収益が増加となり前年同期比6.7%増加 [過去最高を更新]

当期利益 11,115 百万円

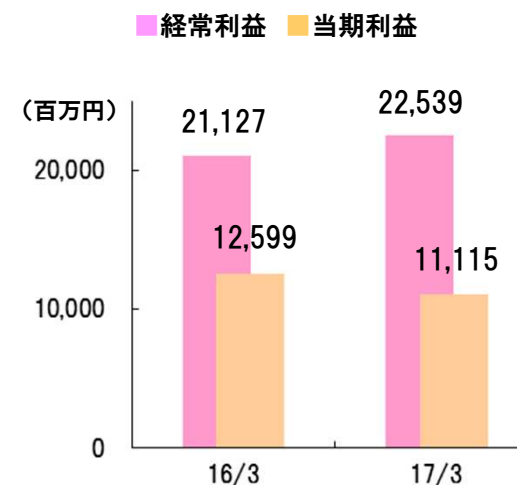
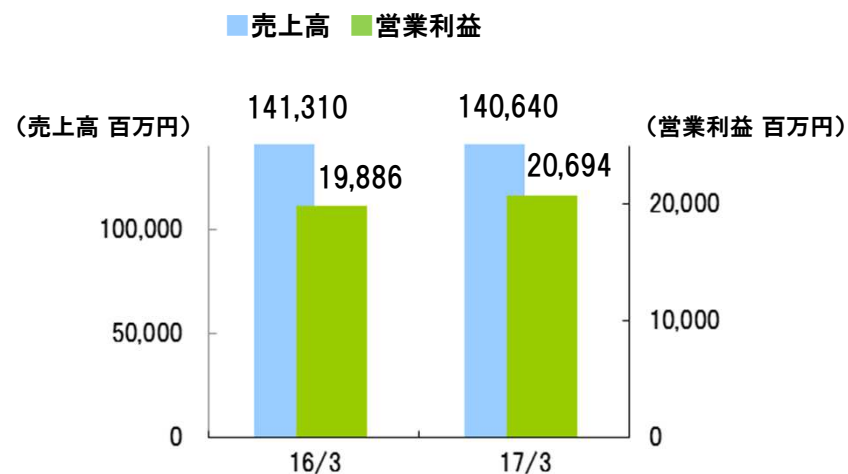
外国債の評価損や、コンテンツ制作部門の新ビル移転に伴う関連費用等を特別損失としたため前年同期比11.8%減少

2017年3月期決算概要 —業績2期比較—

FY2016

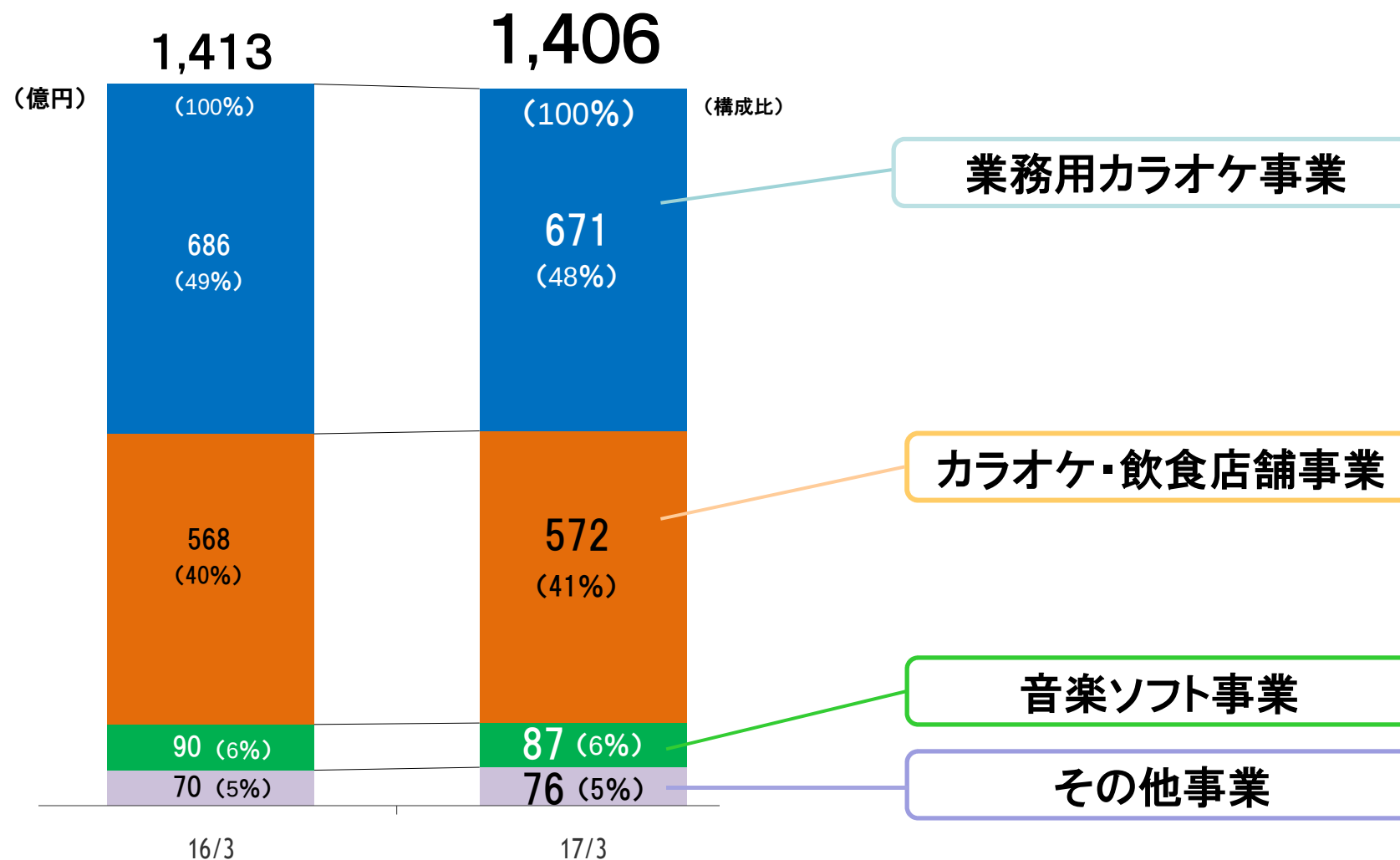
(百万円)

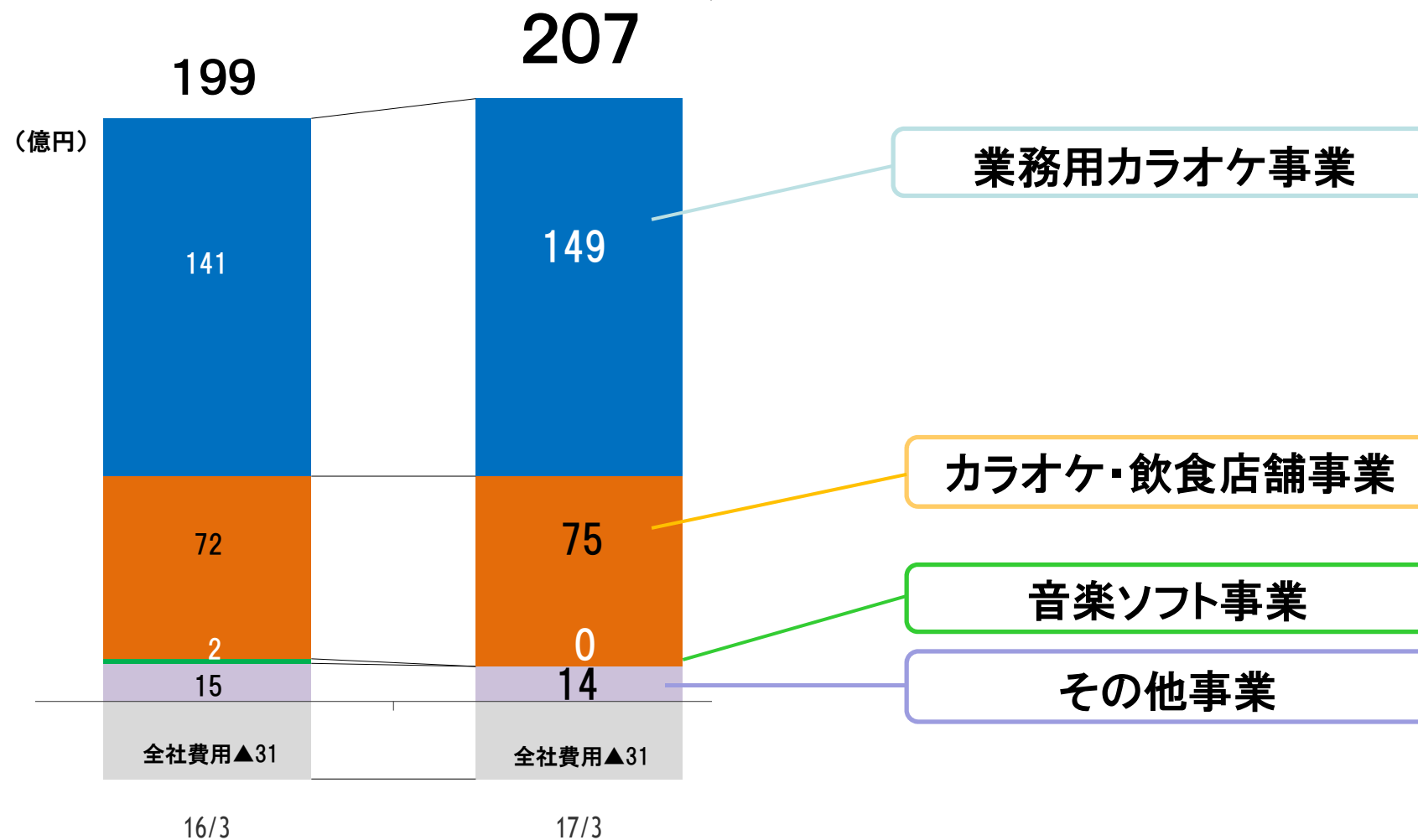
	16年3月期	(売上比)	17年3月期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	141,310	(100.0%)	140,640	(100.0%)	99.5%	△669
営業利益	19,886	(14.1%)	20,694	(14.7%)	104.1%	+808
経常利益	21,127	(15.0%)	22,539	(16.0%)	106.7%	+1,411
当期利益	12,599	(8.9%)	11,115	(7.9%)	88.2%	△1,483



2017年3月期決算概要 ―売上構成―

FY2016





2017年3月期決算概要 ―業務用カラオケ／カラオケ・飲食店舗―

FY2016

業務用カラオケ事業

(百万円)

	16年3月期	(売上比)	17年3月期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	68,557	(100.0%)	67,076	(100.0%)	97.8%	△1,480
営業費用	54,411	(79.4%)	52,215	(77.8%)	96.0%	△2,195
営業利益	14,145	(20.6%)	14,860	(22.2%)	105.1%	+714

[ポイント]

- 前期発売の新商品「LIVE DAM STADIUM」の初期需要が一巡
- 商品ラインアップの強化と拡販に注力した結果、機器賃貸契約件数およびDAM稼働台数は順調に増加
- エルダー市場は、民間介護施設等に加え、自治体の各種施設等での導入により稼働台数が堅調に増加
- ナイト市場向け新商品「Cyber DAM HD」とエルダー市場向け新商品「FREE DAM HD」の2機種を2016年10月に発表

カラオケ・飲食店舗事業

(百万円)

	16年3月期	(売上比)	17年3月期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	56,759	(100.0%)	57,227	(100.0%)	100.8%	+468
営業費用	49,601	(87.4%)	49,691	(86.8%)	100.2%	+90
営業利益	7,158	(12.6%)	7,536	(13.2%)	105.3%	+378

[ポイント]

- 競争激化や節約志向などの影響はあったものの、既存店は昨年の夏場以降から回復基調で推移
- 顧客満足度向上を目指し、エリア別に教育店舗を設置するなど、従業員教育を強化
- 飲食店舗ではブランド変更等による既存店強化や、カラオケルームのリソースを活かした新業態店舗の開発に注力
- 飲食店舗の予約サイト立ち上げにより集客力の向上に注力

2017年3月期決算概要 –音楽ソフト／その他–

FY2016

音楽ソフト事業

(百万円)

	16年3月期	(売上比)	17年3月期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	9,027	(100.0%)	8,718	(100.0%)	96.6%	△308
営業費用	8,838	(97.9%)	8,697	(99.8%)	98.4%	△140
営業利益	189	(2.1%)	20	(0.2%)	11.0%	△168

[ポイント]

- 演歌の主力アーティストの作品とJ-POPアーティストの作品が収益に貢献
- 当事業環境は依然厳しい状況で推移

その他事業

(百万円)

	16年3月期	(売上比)	17年3月期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	6,966	(100.0%)	7,618	(100.0%)	109.4%	+651
営業費用	5,449	(78.2%)	6,191	(81.3%)	113.6%	+742
営業利益	1,517	(21.8%)	1,426	(18.7%)	94.0%	△90

[ポイント]

- 光回線を活用したBGMサービス「スターデジオ光」の拡販に注力
- コンシューマ向けストリーミングカラオケサービスの拡販に注力
- 不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移

2017年3月期決算概要 ― 連結経営指標 ―

FY2016

収益性指標

	16年3月期	17年3月期	対前期増減
R O E(株主資本利益率)	11.4%	9.7%	△1.7%
売上高営業利益率	14.1%	14.7%	+0.6%
1株当たり当期利益(円)	218円25銭	193円53銭	△24円72銭

健全性指標

	16年3月期末	17年3月期末	対前期増減
純資産(百万円)	112,754	119,069	+6,315
自己資本比率(%)	62.0%	62.9%	+0.9%
1株当たり純資産(円)	1,933円03銭	2,057円98銭	+124円95銭

フリーキャッシュ・フロー

(百万円)

	16年3月期	17年3月期	対前期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,100	33,076	+5,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,434	△16,331	+11,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,299	△8,546	△1,247
フリーキャッシュ・フロー	△334	16,745	+17,079

(注)フリーキャッシュ・フロー … 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

利益配分に関する基本方針

■配当方針

- ・将来の投資等のための内部留保を勘案し、連結業績に応じた積極的な利益還元を行う
- ・連結配当性向30%以上を目安に配当を実施
- ・資本効率の向上のための自己株式取得も適時に実施

■配当金の推移

	16年3月期			17年3月期		
	中 間	期 末	年 間	中 間	期 末	年 間
1株当たり配当金	54円	54円	108円	54円	55円	109円
配当性向	49.5%			56.3%		

■自己株式取得等

16年 8月～9月	200,000株(810百万円)を取得
16年 9月	△200,000株を消却
16年11月～12月	200,000株(882百万円)を取得
17年 2月	100,000株(473百万円)を取得

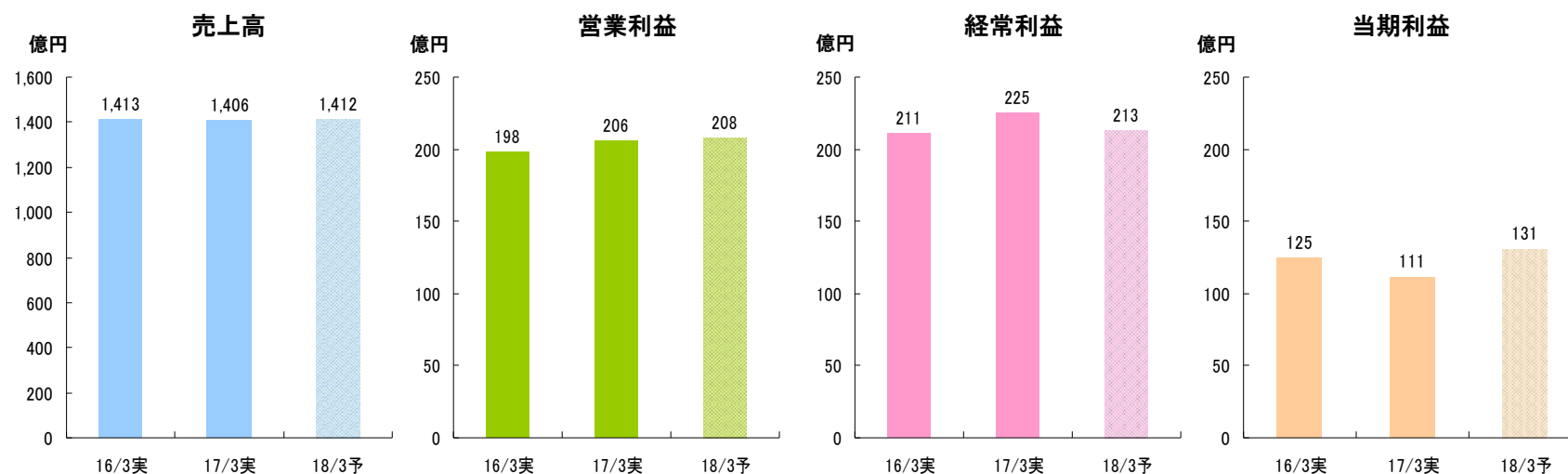
2018年3月期の見通し

2018年3月期の見通し ―連結業績予想―

FY2016

(百万円)

	2016年3月期 FY2015	2017年3月期 FY2016	2018年3月期(予) FY2017
売上高	141,310	140,640	141,200
営業利益	19,886	20,694	20,800
経常利益	21,127	22,539	21,300
当期利益	12,599	11,115	13,100
1株純利益(EPS)	218円25銭	193円53銭	229円30銭



参考資料

LIVE DAM STADIUM (DAM-XG7000)

究極のライブサウンドと
映像を追求！

- 2画面表示で多彩な空間演出が可能な業界初「デュアルモニター」● スタジアムライブの臨場感を再現する「ライブサウンドボタン」● 10.1インチワイド液晶モニターで取り外せる「セパレート・フロントパネル」



Cyber DAM HD (DAM-G100X II)

極上の映像と音響で
夜を華やかに彩る

- フルハイビジョン対応 ● 10.1インチ大型タッチパネル ● ナイト市場で好評の演歌・歌謡曲、外国曲を増曲し、本人出演映像をより充実



Smart DAM L (TM20)

より使いやすく
歌いたい曲がすぐ見つかる

- 10.1インチの大型画面にスタイリッシュなL型ボディ ● ニーズに合わせて自由に置き方を選べる2WAY STYLE ● 充実の検索機能で、多彩且つ、直感的な操作を実現 ● ローマ字入力による楽曲検索などインバウンドにも対応



Party DAM HD (DAM-PD100HD + DSR-PD100)

パーティ仕様の
エンターテインメントマシン

- フルハイビジョン対応オールインワン設計 ● 10.1インチカラー液晶大型タッチパネル ● 150mm大径キャスターによりスムーズに移動 ● ホテル・旅館や結婚式場など、さまざまなシーンを演出する多彩なパーティコンテンツ



FREE DAM HD (DAM-F750HD + DSR-F75)

映像くっきり、音はつきり
DKエルダーシステム推奨機

- フルハイビジョン対応オールインワン設計 ● 10.1インチカラー液晶大型タッチパネル ● 低音域がしっかりと聞き取れる大型ウーファー ● 軽量で150mm大径キャスターによりスムーズに移動 ● 利用者と目的に応じた約500種類の多彩なコンテンツ



DAM★とも新サービス始動！ DAM★ともボーカル／DAM★とも楽曲投稿

カラオケや音楽の新しい楽しみ方を提案する、カラオケユーザーコミュニティサービス「DAM★とも」で、2つの新サービスが始まりました。

DAM★ともボーカル

DAM★とも会員の歌唱データを、カラオケのお手本として公開する画期的なサービスです。

楽曲ごとにユーザーから歌唱データを募集、一番高い点数を獲得した録音曲は、フラッグシップモデル「LIVE DAM STADIUM」で、今年の秋より“お手本ボーカル”として再生される予定です。

新たに曲を覚えたいといったユーザーのニーズに応えることはもちろん、自分の歌声が採用されたら、多くの人に聴かせて自慢したくなること間違いありません。



DAM★とも楽曲投稿

アマチュアアーティストがオリジナル楽曲を「DAM★とも」サイトで公開できるサービスです。

昨今、動画サイトへの投稿をきっかけとするヒット曲が多く創出されている中、自慢の楽曲をカラオケ・音楽ファンであるDAM★とも会員に聴いてもらうことができます。

専用アプリでは、色変わり歌詞テロップを付けたり、背景画の編集も可能。自作の動画を本格的なカラオケ仕様に加工できます。



DAM★ともは、今後もさまざまなサービスを提供することで、カラオケユーザーに新たな楽しみ方を提案していきます。

経産省委託事業「産業創生による自立型地域包括ケアシステム構築実証事業」を実施

少子高齢化や核家族化、単身世帯や高齢者世帯の増加が進む中、地域における近隣関係が希薄化し、地域での支え合いが弱まるなど、私たちが取り巻く環境は大きく変化しています。

誰もが住み慣れた地域で営む自立した暮らしを支えられるよう、地域基盤の核となるコミュニティ形成が必要とされています。

そこで、経済産業省「平成28年度 健康寿命延伸産業創出推進事業（地域におけるヘルスケアビジネス創出推進等事業）」において、当社は、神戸ヤクルト販売株式会社、エーザイ株式会社等とともに受託した「産業創生による自立型地域包括ケアシステム構築実証事業」を実施しました。昨年11月から12月にかけて神戸市内2地区において65歳以上の高齢者を対象に「いきいき元気塾」と称したライフ＆リビングケアサービスを全5回開催。この中で当社は、日本音楽健康協会認定の音楽健康指導士を派遣し、生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」による「うたと音楽」を活用した運動プログラム等を行い、コミュニティ参加が社会性の広がりや心身の健康度を向上させることを志向しました。本実証事業の結果、全参加者が満足したと回答し、運動機能、口腔機能の改善・維持度が9割以上と、想定以上の成果が得られました。

本事業では、地域資源をベースに、「新しい暮らし（コミュニティ）」、「新しい産業（市場創造）」、「新しい地域資本（地域社会保障）」を創出し、住民・事業者・自治体、三方よしの自立型“おかげさま・お互いさまのまちづくり”を行うことを目指しました。

当社は、これからもさまざまな企業や研究機関、自治体との連携を深めながら、各地で地域特性に応じた自立型の地域包括ケアシステムの構築に寄与し、健康寿命の延伸につなげたいと考えます。

カラオケルームが第二のオフィスに！ ビッグエコー でビジネスプランを導入

働き方改革・生産性向上に向けた取り組みの一環として、“テレワーク”の実現が企業の課題となっています。当社が展開するカラオケルーム「ビッグエコー」は、駅に近くてアクセスしやすい店舗が多く、周囲の目を気にする心配のない個室であることから、ビジネス利用としての利便性の高さが注目されていました。そこで4月より、ワークスペースを提供する新サービス「ビジネスプラン」を首都圏27店舗で試験導入しました。

料金プランは、全店舗一律平日19時までの限定で、1ソフトドリンク付き60分600円、フリータイムは1,500円に設定。無線LAN環境により快適なインターネット接続を利用できます（一部店舗にて先行導入）。

また、ワークスペースに必要な「電源タップ」、「HDMIケーブル」、「卓上ホワイトボード」の無料貸出サービスも実施。ルームに設置された大型ディスプレイにノートパソコンを接続すれば、同席メンバーと資料の共有ができ、カラオケ用のマイクを使用してプレゼンテーションの練習も行えます。



ビッグエコーは、立地や客層、利用用途に応じたサービスを継続的に展開することで、さらなる集客向上を目指します。

【ビッグエコー ビジネスプラン導入店舗】(27店舗)

東京都	秋葉原昭和通り口駅前店※、神田西口店、神田小川町店、有楽町店、新有楽町店、御茶ノ水店、御茶ノ水駅前店、八重洲本店※、銀座数寄屋橋店※、新橋銀座口駅前店、新橋烏森口店※、浜松町駅前店、新浜松町店※、田町三田口駅前店、品川港南口駅前店、品川港南口中央店※、西新宿センター店、門前仲町駅前店、五反田東口駅前店※、五反田西口店、三軒茶屋駅前店、渋谷道玄坂店、池袋西口店
神奈川県	横浜関内店、横浜相鉄口駅前店、新横浜店、京急川崎駅前店

※印の店舗は、インターネット無線LANを利用できます。導入店舗は随時拡大予定です。

参考資料（カラオケ・飲食店舗事業）－飲食店舗ブランド－

FY2016

和食



産地素材にこだわった海の幸を味わう個室ダイニング



旬魚と創作和食を味わえる、デザイナーズ和モダンダイニング



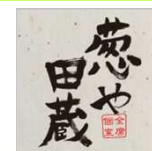
日本中の鮮魚と三浦野菜、四季折々の食材が愉しめる和モダンダイニング



海の幸、大地の恵みを贅沢に使った本格炙りダイニング



大小様々な個室を用意。落ち着いた空間は接待にも最適な和食ダイニング



様々な葱を使った逸品料理や、鴨しゃぶしゃぶなど和食が美味しい個室ダイニング



焼き鳥など備長炭を使用した本格炭火料理が自慢の居酒屋ダイニング



北海道の食材を使った名物料理と創作料理が個室で楽しめる北海道居酒屋

創作和食



入ると癒される不思議なおうち。創作和食ダイニングでとおきのひとときを



落ち着いた京の個室で楽しむ本格和食。湯葉やしゃぶしゃぶの他料理人の手による創作和食も味わえる。しっとりとした京都から、華やかな京都までブランド毎に演出しています



本格和食からフレンチまで贅沢なひとときを堪能できる大人の隠れ家

洋食・エスニック



和のくつろぎと洋の美味しさを楽しむモダンダイニング



チーズフォンデュやステーキなどの洋食とカジュアルなバルメニューを気軽にお楽しみいただけます



肉とワインと会話をカジュアルに楽しむ肉バル

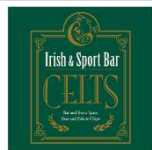


本格的なシーフードイタリアンとこだわりのワインを提供するオサカナバル



バリリゾート空間でエスニックな創作料理を

バー・ライブレストラン



気の合う仲間を誘ってギネスを片手に大型モニターでスポーツ観戦



喧噪から隠れてしっとり飲める本格的なショットバー



スペインバル風のカジュアルな雰囲気本格イタリアンをワインと共に楽しむ



ブラックニッカ史上、最強炭酸ハイボールを楽しむ居心地いい空間



70年代の懐かしのフォークソングを聴いて唄って、弾いて楽しんで



定期的なライブショー以外は、企業懇親会・ブライダルなど各種パーティ、イベントに最適

喫茶・カフェ



ハンドドリップ珈琲と手作りパンケーキが味わえるクラシカルモダンな喫茶店



森林リゾートを連想させる空間で、こだわり珈琲を

日本クラウン

◆演歌・歌謡曲

三山ひろし

昨年、故郷・高知県をモチーフにした「四万十川」で「NHK紅白歌合戦」2年連続出場を果たした三山ひろし。けん玉を使ったパフォーマンスを披露して話題となりました。

最新シングル「男の流儀」も、前作同様、高知県の「土佐のいごっそ」を象徴するような男らしく気風よく聴かせる楽曲です。今年はこの曲で、3年連続「NHK紅白歌合戦」出場に挑みます。



シングル
「男の流儀」
2017年2月8日リリース

◆J-POP

半崎美子

19歳で音楽に目覚め、大学を中退し単身上京。17年間プロダクション、レコード会社に所属することなく個人でショッピングモールを中心に歌い続け、彼女の歌声を聴き涙する人々が続出。いつからか“ショッピングモールの歌姫”と呼ばれるようになる。

4月5日のメジャーデビューをきっかけに、多くのスポーツ新聞、TV情報番組で注目のアーティストとして紹介され、有線ランキング・WEB検索ランキング等、各種ランキングで急上昇中。



ミニアルバム
「うた弁」
2017年4月5日リリース

徳間ジャパンコミュニケーションズ

◆演歌・歌謡曲

水森かおり

“ご当地ソングの女王”水森かおりの最新シングル「早稲ノ瀬戸」。

ロングヒットを記録した前作「越後水原」に続く新たな舞台は、本州最西端の地・山口県下関市。関門海峡東端に位置してその最狭部をなし、潮流が最高8ノットに達する航行の難所で、源平の古戦場として知られる水道“早稲ノ瀬戸”を舞台に、おんなのひとり旅が新たに始まります。



シングル
「早稲ノ瀬戸（はやとものせと）」
2017年5月2日リリース

◆J-POP

真心ブラザーズ

1989年大学在学中に音楽サークルの先輩YO-KINGと後輩桜井秀俊で結成。バラエティ番組内“フォークソング合戦”にて見事10週連続を勝ち抜き、同年9月にメジャー・デビュー。「どか〜ん」「サマー・ヌード」、「拝啓、ジョン・レノン」など数々の名曲を世に送り出し、今年で結成28年を迎える。

2014年に徳間ジャパンへの移籍と同時に自身のレーベル“Do Thing Recordings”を設立。『Do Sing』以来、2年10か月ぶりとなる通算15枚目アルバムをリリース予定。



アルバム
「FLOW ON THE CLOUD」
2017年9月13日
リリース予定

本資料に掲載の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するご質問等は、経営企画部
TEL:03-3280-2774までお願いいたします。